

## 作物統計調査

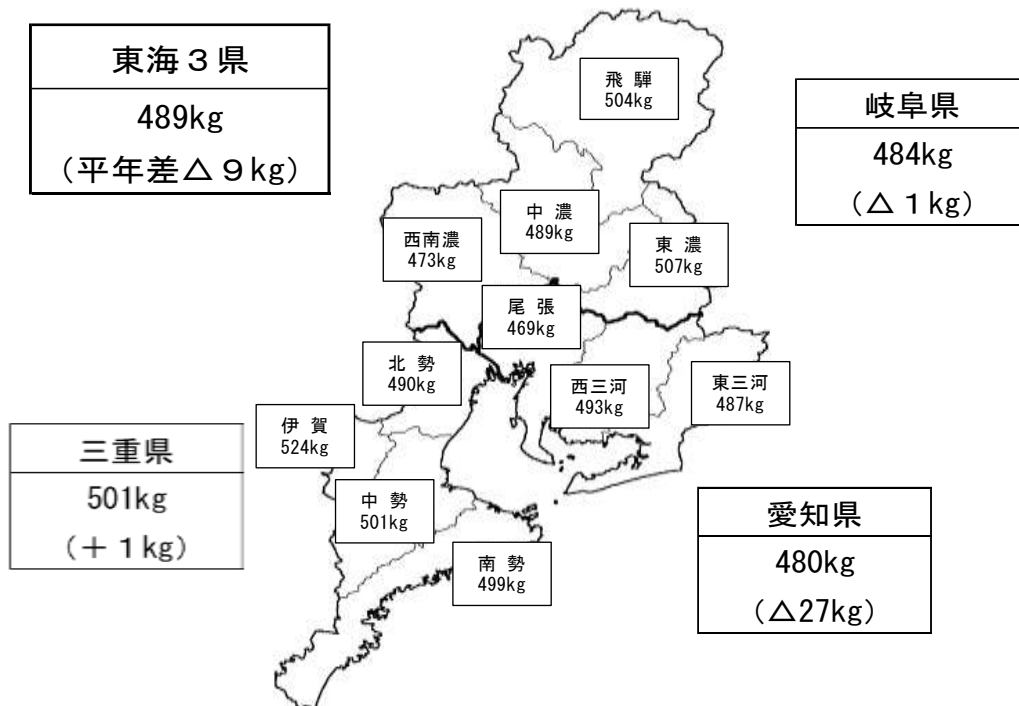
### 令和5年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量

— 予想収穫量（主食用）は33万8,600 tの見込み —

#### 【調査結果の概要】

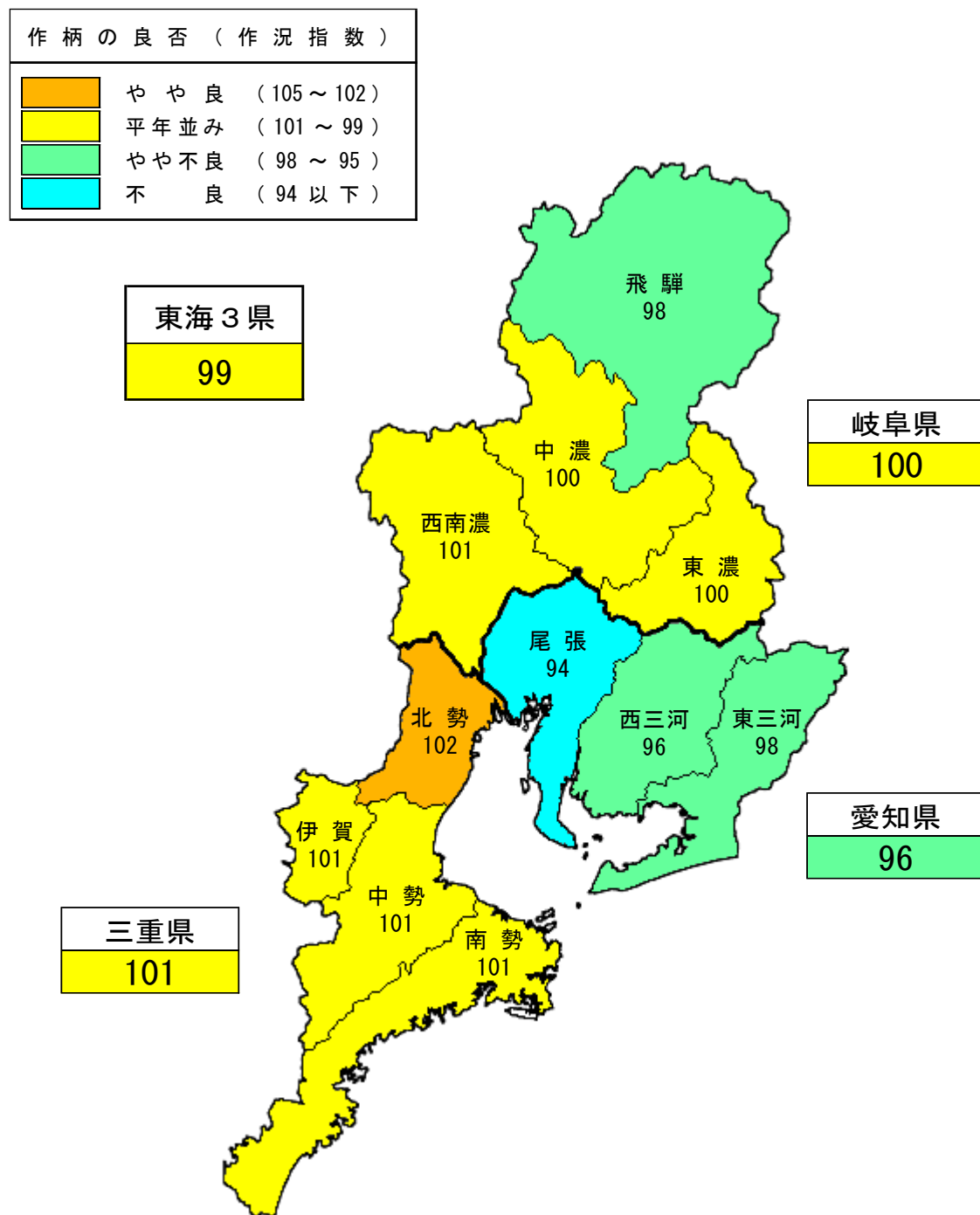
- 1 東海3県（岐阜、愛知及び三重）における令和5年産水稻の作付面積（子実用）は7万1,700ha（前年産に比べ400ha減少）となった。うち主食用作付面積は6万9,300ha（前年産に比べ1,000ha減少）となった。
- 2 水稻の10a当たり予想収量は489kgと見込まれる。
- 3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は35万300t（前年産に比べ1万2,100t減少）と見込まれる。このうち、主食用の予想収穫量は33万8,600t（前年産に比べ1万4,900t減少）と見込まれる。
- 4 農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は99となる見込み。

図1 県・作柄表示地帯別10a当たり予想収量（10月25日現在）  
（1.70mmのふるい目幅ベース）



- 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
- 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。なお、農家等が使用しているふるい目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）ベースの作況指数は2ページを参照。
- 10a当たり予想収量は、収穫を終えた地域では刈取り実測による結果であるが、一部収穫を終わっていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定した結果である。したがって、今後の気象条件等により変動することがある。
- 東海3県は東海農政局が管轄する地域（静岡県を含まない。）であり、全国農業地域における東海（静岡県を含む。）とは一致しない。

図2 県・作柄表示地帯別作況指数（10月25日現在）  
（農家等が使用しているふるい目幅ベース）



注： 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率であり、県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

◎ 累年データ

1 水稲（子実用）の年次別推移

(1) 東海3県

年 産	作 付 面 積 (子実用)	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成26年産	82,900	493	408,700	80,900	398,300	99
27	78,900	492	388,200	77,000	378,800	99
28	77,500	511	396,300	75,600	386,500	102
29	76,700	494	379,200	74,900	369,700	99
30	77,600	493	382,500	75,300	371,200	98
令和元	77,400	486	375,900	75,000	364,100	97
2	77,000	480	369,900	74,500	357,900	96
3	74,300	490	364,300	72,400	355,100	98
4	72,100	503	362,400	70,300	353,500	101
5 (概数值)	71,700	489	350,300	69,300	338,600	99

資料：農林水産省統計部『作物統計』（以下、(4)まで同じ。）

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である（以下、(4)まで同じ。）。

2 10 a 当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量（令和5年産は予想）である（以下、(4)まで同じ。）。

3 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である（以下、(4)まで同じ。）。

4 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり収量の比率であり、平成26年産以前は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、平成27年産から令和元年産までは、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（東海は1.80mm）以上に選別された玄米を基に算出していた。令和2年産以降は、県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である（以下、(4)まで同じ。）。

## (2) 岐阜県

年 産	作付面積 (子実用)	10a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成26年産	24,100	482	116,200	23,500	113,300	99
27	22,500	481	108,200	22,100	106,300	99
28	22,200	486	107,900	21,700	105,500	100
29	21,900	488	106,900	21,500	104,900	100
30	22,500	478	107,600	21,500	102,800	97
令和元	22,500	482	108,500	21,400	103,100	99
2	22,500	470	105,800	21,400	100,600	96
3	21,600	478	103,200	20,700	98,900	98
4	20,700	487	100,800	20,000	97,400	100
5 (概数值)	20,700	484	100,200	19,700	95,300	100

## (3) 愛知県

年 産	作付面積 (子実用)	10a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成26年産	29,300	504	147,700	28,400	143,100	99
27	28,100	503	141,300	27,200	136,800	99
28	27,700	521	144,300	26,900	140,100	103
29	27,500	512	140,800	26,600	136,200	101
30	27,600	499	137,700	26,700	133,200	98
令和元	27,500	499	137,200	26,600	132,700	98
2	27,400	490	134,300	26,400	129,400	96
3	26,400	496	130,900	25,800	128,000	98
4	25,900	505	130,800	25,200	127,300	100
5 (概数值)	25,800	480	123,800	24,700	118,600	96

## (4) 三重県

年 産	作付面積 (子実用)	10a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成26年産	29,500	491	144,800	28,900	141,900	98
27	28,300	490	138,700	27,700	135,700	98
28	27,600	522	144,100	27,000	140,900	105
29	27,400	480	131,500	26,800	128,600	95
30	27,500	499	137,200	27,100	135,200	100
令和元	27,300	477	130,200	26,900	128,300	95
2	27,100	479	129,800	26,700	127,900	96
3	26,300	495	130,200	25,900	128,200	99
4	25,600	511	130,800	25,200	128,800	102
5 (概数值)	25,200	501	126,300	24,900	124,700	101

## 2 水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a 当たり収量及び収穫量（子実用）

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量（未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。）としている（17ページ【参考1】参照）。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

### (1) ふるい目幅別重量分布状況の推移（東海3県）

単位：%

年 産	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
平成30年産	100.0	0.8	1.4	2.1	2.4	12.5	80.8
令和元	100.0	0.8	1.3	2.1	2.6	12.7	80.5
2	100.0	0.9	1.4	2.0	2.4	11.0	82.3
3	100.0	0.8	1.3	1.8	2.3	11.3	82.5
4	100.0	0.9	1.3	1.6	2.3	8.2	85.7
5 (概数値)	100.0	0.7	1.0	1.3	1.8	6.7	88.5
平均値	100.0	0.8	1.3	1.9	2.4	11.1	82.5
対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.6	△ 0.6	△ 4.4	6.0

注：平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

### (2) ふるい目幅別10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の推移（東海3県）

年 産	単 位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
		kg	kg	kg	kg	kg	kg
平成30年産	10a当たり収量	493	489	482	472	460	398
	収穫量	382,500	379,400	374,100	366,100	356,900	309,100
令和元	10a当たり収量	486	482	476	466	453	391
	収穫量	375,900	372,900	368,000	360,100	350,300	302,600
2	10a当たり収量	480	476	469	459	448	395
	収穫量	369,900	366,600	361,400	354,000	345,100	304,400
3	10a当たり収量	490	486	480	471	460	404
	収穫量	364,300	361,400	356,700	350,100	341,700	300,500
4	10a当たり収量	503	498	492	484	472	431
	収穫量	362,400	359,100	354,400	348,600	340,300	310,600
5 (概数値)	10a当たり収量	489	486	481	474	466	433
	収穫量	350,300	347,800	344,300	339,800	333,500	310,000
	対前年比	%	97	97	97	97	98

注：1 ふるい目幅別の10a 当たり収量とは、東海3県の10a 当たり（予想）収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、東海3県の（予想）収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

## 【調査結果】

### 1 東海3県

#### (1) 作付面積

令和5年産水稻の作付面積（子実用）は7万1,700ha（前年産に比べ400ha減少）となった。

また、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は6万9,300ha（前年産に比べ1,000ha減少）となった。

#### (2) 作柄概況

全もみ数は、三重県でやや多く、岐阜県で平年並み、愛知県でやや少なくなった。登熟は、東海3県ともに平年並みと見込まれる。

10月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は489kg（平年に比べ△9kg）と見込まれる。県別は、岐阜県で484kg（同△1kg）、愛知県で480kg（同△27kg）、三重県で501kg（同+1kg）と見込まれる。

農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は99の「平年並み」と見込まれる。県別は、三重県で101、岐阜県で100の「平年並み」、愛知県で96の「やや不良」と見込まれる。

#### (3) 予想収穫量

予想収穫量（子実用）は35万300t（前年産に比べ1万2,100t減少）と見込まれる。このうち、主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は33万8,600t（前年産に比べ1万4,900t減少）と見込まれる。

表1 令和5年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量

区分	作付面積（子実用）			10a当たり予想収量			予想収穫量（子実用）			主食用 作付面積	予想収穫量 （主食用）	作況指数
	実数 ①	前年産との比較		実数 ②	平年 との比較 対差	前年産 との比較 対差	実数 ③=①×②	前年産との比較				
		対差	対比					対差	対比			
東海3県	71,700 ha	△400 ha	99 %	489 kg	△9 kg	△14 kg	350,300 t	△12,100 t	97 %	69,300 ha	338,600 t	99
岐阜県	20,700	0	100	484	△1	△3	100,200	△600	99	19,700	95,300	100
愛知県	25,800	△100	100	480	△27	△25	123,800	△7,000	95	24,700	118,600	96
三重県	25,200	△400	98	501	1	△10	126,300	△4,500	97	24,900	124,700	101

注：1 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

2 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。

3 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

4 予想収穫量（子実用）及び予想収穫量（主食用）については県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

5 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率であり、県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

表2 ふるい目幅別重量分布状況（10月25日現在）

単位：%

区 分		計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
東 海 3 県	重量割合	100.0	0.7	1.0	1.3	1.8	6.7	88.5
	平均値	100.0	0.8	1.3	1.9	2.4	11.1	82.5
	対平均差（ポイント）	0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.6	△ 0.6	△ 4.4	6.0
岐 阜 県 (1.80mm)	重量割合	100.0	0.7	0.9	1.1	1.9	5.5	89.9
	平均値	100.0	0.9	1.4	1.9	2.5	12.0	81.3
	対平均差（ポイント）	0.0	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.6	△ 6.5	8.6
愛 知 県 (1.85mm)	重量割合	100.0	0.6	0.9	1.1	1.8	6.6	89.0
	平均値	100.0	0.7	1.2	1.8	2.6	11.2	82.5
	対平均差（ポイント）	0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.8	△ 4.6	6.5
三 重 県 (1.85mm)	重量割合	100.0	0.8	1.2	1.6	1.8	7.8	86.8
	平均値	100.0	0.9	1.4	2.1	2.2	10.4	83.0
	対平均差（ポイント）	0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.4	△ 2.6	3.8

注：1 平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

2 ふるい目幅別重量分布状況は、10月25日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆等のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある（以下、表3において同じ。）。

3 県名の下に記載されている括弧内の数値は、県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）である（以下、表3において同じ。）。

表3 ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）（10月25日現在）

区 分		単 位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
東 海 3 県	10 a 当たり収量	kg	489	486	481	474	466	433
	収穫量（子実用）	t	350,300	347,800	344,300	339,800	333,500	310,000
岐 阜 県 (1.80mm)	10 a 当たり収量	kg	484	481	476	471	462	435
	収穫量（子実用）	t	100,200	99,500	98,600	97,500	95,600	90,100
愛 知 県 (1.85mm)	10 a 当たり収量	kg	480	477	473	468	459	427
	収穫量（子実用）	t	123,800	123,100	121,900	120,600	118,400	110,200
三 重 県 (1.85mm)	10 a 当たり収量	kg	501	497	491	483	474	435
	収穫量（子実用）	t	126,300	125,300	123,800	121,800	119,500	109,600

注：1 ふるい目幅別の10a当たり収量とは、東海3県又は県別の10a当たり予想収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、東海3県又は県別の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

表4 令和5年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況  
(10月25日現在、東海3県)

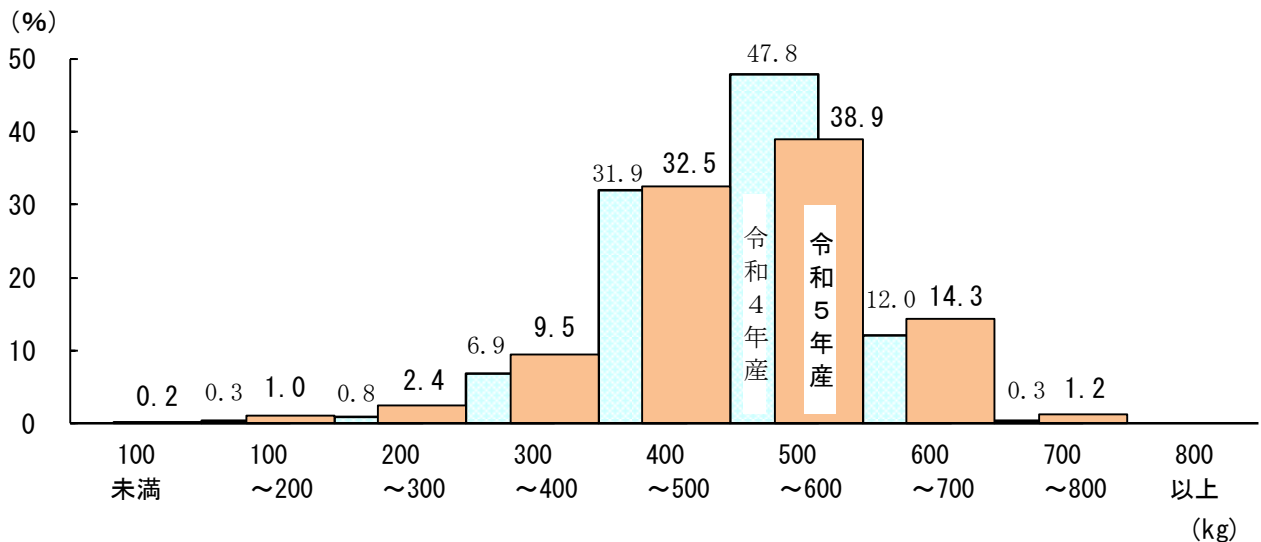
単位：%

区 分	計	100kg 未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg 以上
筆数割合	100.0	0.2	1.0	2.4	9.5	32.5	38.9	14.3	1.2	-
前年値	100.0	-	0.3	0.8	6.9	31.9	47.8	12.0	0.3	-
対前年差(ポイント)	0.0	0.2	0.7	1.6	2.6	0.6	△ 8.9	2.3	0.9	-

注：1 10a 当たり玄米重は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

2 10月25日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある。

図3 令和5年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況  
(10月25日現在、東海3県)





## 2 岐阜県

### (1) 作付面積

令和5年産水稻の作付面積（子実用）は2万700haで前年産並みとなった。

また、主食用作付面積は1万9,700ha（前年産に比べ300ha減少）となった。

### (2) 作柄概況

全もみ数は、穂数がやや少なく、1穂当たりもみ数がやや多くなったことから、平年並みとなった。

登熟は、7月からの高温等の影響で不稔もみが多かったものの、粒の肥大・充実が進んだことから、平年並みと見込まれる。

10月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は484kg（平年に比べ△1kg）と見込まれる。

作柄表示地帯別は、西南濃で473kg（平年に比べ+4kg）、中濃で489kg（同△1kg）、東濃で507kg（同△3kg）、飛騨で504kg（同△17kg）と見込まれる。

岐阜県の農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.80mm）の作況指数は100の「平年並み」と見込まれる。

作柄表示地帯別は、西南濃で101、中濃、東濃で100の「平年並み」、飛騨で98の「やや不良」と見込まれる。

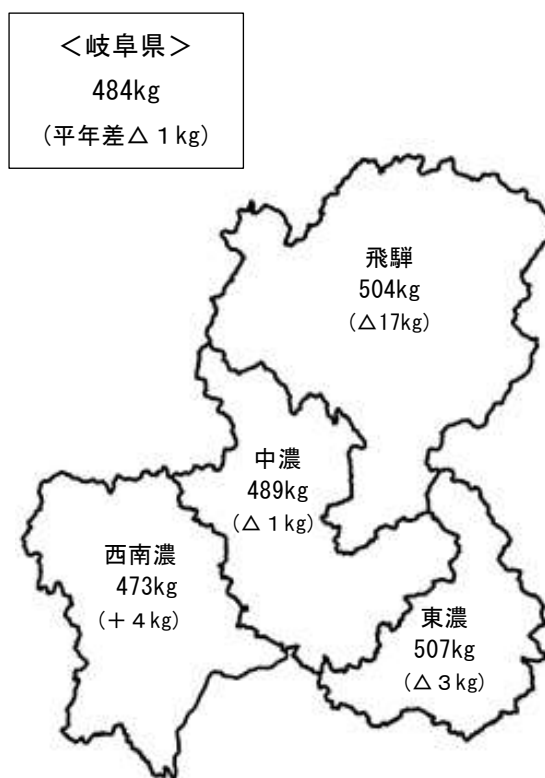
### (3) 予想収穫量

予想収穫量（子実用）は10万200t（前年産に比べ600t減少）と見込まれる。このうち、主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は9万5,300t（前年産に比べ2,100t減少）と見込まれる。

### (4) ふるい目幅別重量

10月25日現在におけるふるい目幅別重量分布状況は、1.80mm以上の玄米の重量割合が98.4%と見込まれ、直近5か年平均値に比べ0.7ポイント高くなっている。

図4 作柄表示地帯別10a当たり予想収量  
（10月25日現在）  
（1.70mmのふるい目幅ベース）



### 3 愛知県

#### (1) 作付面積

令和5年産水稻の作付面積(子実用)は2万5,800ha(前年産に比べ100ha減少)となった。

また、主食用作付面積は2万4,700ha(前年産に比べ500ha減少)となった。

#### (2) 作柄概況

全もみ数は、穂数がやや少なく、1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから、やや少なくなった。

登熟は、全もみ数が少なかったことによる補償作用があったものの、7月から的高温等やカメムシの食害により不稔もみが多く見られたことから、平年並みと見込まれる。

10月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は、出穂前後から続く記録的な高温等の影響やカメムシによる食害等により、収量基準に満たない玄米が特に尾張及び西三河で多く見られたため、480kg(平年に比べ $\Delta 27$ kg)と見込まれる。

作柄表示地帯別は、尾張で469kg(平年に比べ $\Delta 33$ kg)、西三河で493kg(同 $\Delta 24$ kg)、東三河で487kg(同 $\Delta 14$ kg)と見込まれる。

愛知県の農家等が使用しているふるい目幅ベース(1.85mm)の作況指数は96の「やや不良」と見込まれる。

作柄表示地帯別は、東三河で98、西三河で96の「やや不良」、尾張で94の「不良」と見込まれる。

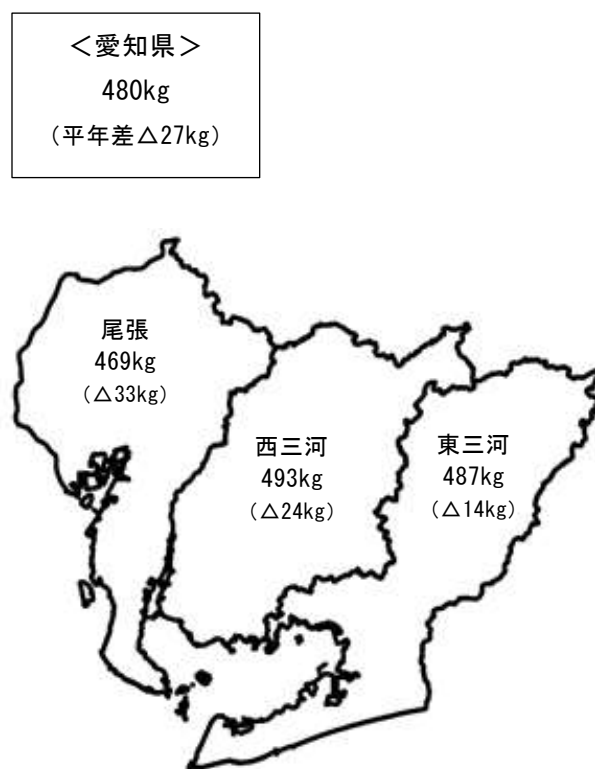
#### (3) 予想収穫量

予想収穫量(子実用)は12万3,800t(前年産に比べ7,000t減少)と見込まれる。このうち、主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量(主食用)は11万8,600t(前年産に比べ8,700t減少)と見込まれる。

#### (4) ふるい目幅別重量

10月25日現在におけるふるい目幅別重量分布状況は、1.85mm以上の玄米の重量割合が97.4%と見込まれ、直近5か年平均値に比べ1.1ポイント高くなっている。

図5 作柄表示地帯別10a当たり予想収量  
(10月25日現在)  
(1.70mmのふるい目幅ベース)



## 4 三重県

### (1) 作付面積

令和5年産水稻の作付面積(子実用)は2万5,200ha(前年産に比べ400ha減少)となった。

また、主食用作付面積は2万4,900ha(前年産に比べ300ha減少)となった。

### (2) 作柄概況

全もみ数は、穂数がやや少なく、1穂当たりもみ数が多くなったことから、やや多くなった。

登熟は、7月からの高温等の影響で不稔もみが多かったものの、粒の肥大・充実が進んだことから、平年並みと見込まれる。

10月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は、出穂前後から続く記録的な高温等の影響により、収量基準に満たない玄米が見られたため、501kg(平年に比べ+1kg)と見込まれる。

作柄表示地帯別は、北勢で490kg(平年に比べ±0kg)、中勢で501kg(同+1kg)、南勢で499kg(同+1kg)、伊賀で524kg(同+2kg)と見込まれる。

三重県の農家等が使用しているふるい目幅ベース(1.85mm)の作況指数は101の「平年並み」と見込まれる。

作柄表示地帯別は、北勢で102の「やや良」、中勢、南勢及び伊賀で101の「平年並み」と見込まれる。

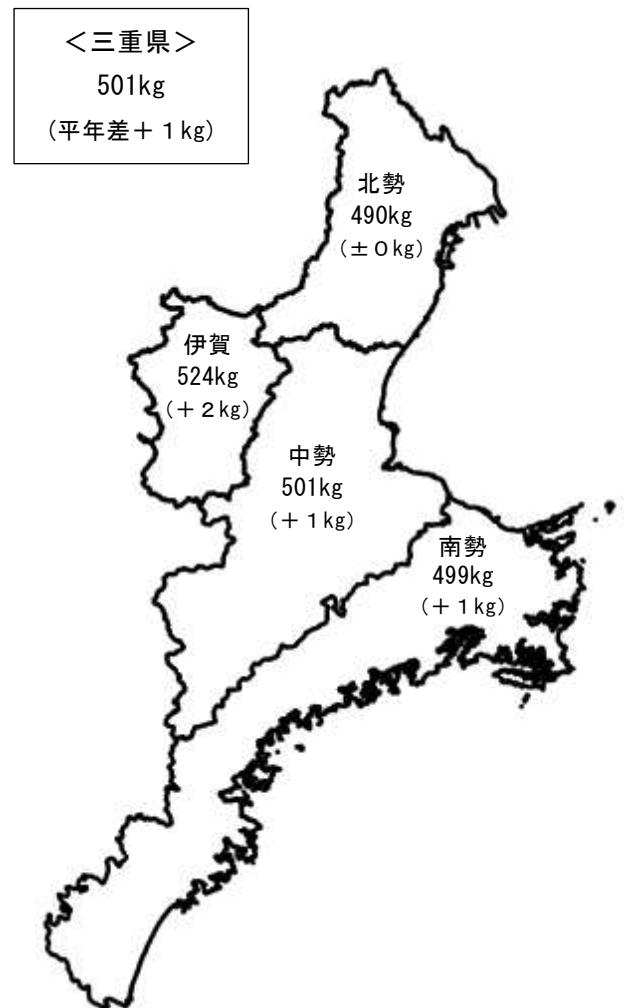
### (3) 予想収穫量

予想収穫量(子実用)は12万6,300t(前年産に比べ4,500t減少)と見込まれる。このうち、主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量(主食用)は12万4,700t(前年産に比べ4,100t減少)と見込まれる。

### (4) ふるい目幅別重量

10月25日現在におけるふるい目幅別重量分布状況は、1.85mm以上の玄米の重量割合が96.4%と見込まれ、直近5か年平均値に比べ0.8ポイント高くなっている。

図6 作柄表示地帯別10a当たり予想収量  
(10月25日現在)  
(1.70mmのふるい目幅ベース)



## 【統 計 表】

### 統計表一覧

ページ

1	令和5年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量……………	13
2	令和5年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況（10月25日現在）……………	14
3	令和5年産水稻玄米のふるい目幅別10a当たり収量（10月25日現在）……………	15
4	令和5年産水稻玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）（10月25日現在）……………	15
5	令和5年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（10月25日現在）……………	16
6	令和5年産水稻の作柄表示地帯別玄米重歩合（10月25日現在）……………	16
7	令和5年産水稻の刈取期及び刈取済面積割合（10月25日現在）……………	16

### 利用上の注意

- 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数	6桁 (10万)	5桁 (1万)	4桁 (1,000)	3桁以下 (100以下)	
四捨五入する桁数 (下から)	2桁		1桁	四捨五入しない	
例	四捨五入する前 (原数)	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値 (統計数値)	123,500	12,300	1,230	123

- 表中に用いた記号は次のとおりである。  
 「0」、「0.0」：増減がないもの  
 「－」：事実のないもの  
 「…」：事実不詳又は調査を欠くもの  
 「△」：負数又は減少したもの
- この統計表に掲載された数値等を他に転載する場合は、「令和5年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量」（東海農政局）による旨を記載してください。

# 1 令和5年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量

区 分	作付面積（子実用）			10 a 当たり 予想収量	農家等が使用しているふるい目幅で選別 (岐阜県1.80mm、愛知県及び三重県1.85mm)		
	実 数 ①	前年産との比較			10 a 当たり 予想収量 ③	10 a 当たり 平年収量 ④	作況指数 ⑤=③/④
		対 差	対 比				
	ha	ha	%	kg	kg	kg	
東海3県	71,700	△ 400	99	489	475	481	99
岐阜県	20,700	0	100	484	476	475	100
西南濃	11,500	300	103	473	463	457	101
中濃	3,740	△ 220	94	489	482	481	100
東濃	2,840	△ 60	98	507	502	501	100
飛騨	2,590	△ 10	100	504	499	511	98
愛知県	25,800	△ 100	100	480	468	489	96
尾張	12,400	100	101	469	457	486	94
西三河	8,950	△ 60	99	493	479	497	96
東三河	4,450	△ 50	99	487	476	484	98
三重県	25,200	△ 400	98	501	483	478	101
北勢	8,020	△ 110	99	490	474	466	102
中勢	8,950	△ 80	99	501	480	477	101
南勢	3,880	△ 110	97	499	487	481	101
伊賀	4,380	△ 30	99	524	505	502	101

区 分	予想収穫量（子実用）			主食用 作付面積	予想収穫量 （主食用）		
	実 数 ⑥=①×②	前年産との比較				⑦	⑧=⑦×②
		対 差	対 比				
	t	t	%	ha	t		
東海3県	350,300	△ 12,100	97	69,300	338,600		
岐阜県	100,200	△ 600	99	19,700	95,300		
西南濃	54,400	1,000	102	...	...		
中濃	18,300	△ 1,300	93	...	...		
東濃	14,400	0	100	...	...		
飛騨	13,100	△ 100	99	...	...		
愛知県	123,800	△ 7,000	95	24,700	118,600		
尾張	58,200	△ 3,200	95	...	...		
西三河	44,100	△ 2,400	95	...	...		
東三河	21,700	△ 800	96	...	...		
三重県	126,300	△ 4,500	97	24,900	124,700		
北勢	39,300	△ 1,400	97	...	...		
中勢	44,800	△ 1,500	97	...	...		
南勢	19,400	△ 900	96	...	...		
伊賀	23,000	△ 500	98	...	...		

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。

2 ②10 a 当たり予想収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

4 ③10 a 当たり予想収量、④10 a 当たり平年収量及び⑤作況指数については、県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

## 2 令和5年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況（10月25日現在）

区 分	ふるい目幅別重量分布状況						
	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
東 海 3 県	100.0	0.7	1.0	1.3	1.8	6.7	88.5
岐 阜 県	100.0	0.7	0.9	1.1	1.9	5.5	89.9
西 南 濃	100.0	0.8	1.1	1.3	2.2	5.9	88.7
中 濃	100.0	0.6	0.9	1.0	1.8	5.4	90.3
東 濃	100.0	0.4	0.6	0.7	1.3	4.7	92.3
飛 騨	100.0	0.4	0.5	0.6	1.5	5.1	91.9
愛 知 県	100.0	0.6	0.9	1.1	1.8	6.6	89.0
尾 張	100.0	0.6	0.9	1.0	1.8	6.7	89.0
西 三 河	100.0	0.6	1.0	1.2	1.9	7.0	88.3
東 三 河	100.0	0.4	0.8	1.1	1.5	5.8	90.4
三 重 県	100.0	0.8	1.2	1.6	1.8	7.8	86.8
北 勢	100.0	0.7	1.1	1.5	1.9	7.7	87.1
中 勢	100.0	0.9	1.4	1.8	2.0	8.8	85.1
南 勢	100.0	0.6	0.8	1.1	1.2	4.7	91.6
伊 賀	100.0	0.8	1.3	1.6	2.0	8.8	85.5

区 分	対平均差						
	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
東 海 3 県	0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.6	△ 0.6	△ 4.4	6.0
岐 阜 県	0.0	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.6	△ 6.5	8.6
西 南 濃	0.0	△ 0.2	△ 0.6	△ 0.9	△ 0.8	△ 8.1	10.6
中 濃	0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.5	0.0	△ 4.1	4.9
東 濃	0.0	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.3	△ 3.4	5.0
飛 騨	0.0	△ 0.4	△ 0.6	△ 1.4	△ 1.0	△ 6.8	10.2
愛 知 県	0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.8	△ 4.6	6.5
尾 張	0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.7	△ 0.7	△ 3.4	5.1
西 三 河	0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.8	△ 0.7	△ 4.0	5.9
東 三 河	0.0	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.8	△ 1.6	△ 8.8	12.1
三 重 県	0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.4	△ 2.6	3.8
北 勢	0.0	△ 0.3	△ 0.6	△ 0.8	△ 0.5	△ 3.5	5.7
中 勢	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.4	△ 2.5	3.5
南 勢	0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.3	△ 3.9	5.0
伊 賀	0.0	0.1	0.1	△ 0.2	0.2	0.0	△ 0.2

注：1 ふるい目幅別重量分布状況は、10月25日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆等のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある（以下、4まで同じ。）。

2 対平均差に用いた平均値は、直近5か年の重量割合の平均値である。

### 3 令和5年産水稻玄米のふるい目幅別10a当たり収量（10月25日現在）

単位：kg

区 分	ふるい目幅別10a当たり収量					
	1.70mm 以上	1.75mm 以上	1.80mm 以上	1.85mm 以上	1.90mm 以上	2.00mm 以上
東海3県	489	486	481	474	466	433
岐阜県	484	481	476	471	462	435
西南濃	473	469	464	458	447	420
中濃	489	486	482	477	468	442
東濃	507	505	502	498	492	468
飛騨	504	502	499	496	489	463
愛知県	480	477	473	468	459	427
尾張	469	466	462	457	449	417
西三河	493	490	485	479	470	435
東三河	487	485	481	476	468	440
三重県	501	497	491	483	474	435
北勢	490	487	481	474	465	427
中勢	501	496	489	480	470	426
南勢	499	496	492	487	481	457
伊賀	524	520	513	505	494	448

注：ふるい目幅別10a当たり収量とは、県及び作柄表示地帯別の10a当たり予想収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

### 4 令和5年産水稻玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）（10月25日現在）

単位：t

区 分	ふるい目幅別収穫量（子実用）					
	1.70mm 以上	1.75mm 以上	1.80mm 以上	1.85mm 以上	1.90mm 以上	2.00mm 以上
東海3県	350,300	347,800	344,300	339,800	333,500	310,000
岐阜県	100,200	99,500	98,600	97,500	95,600	90,100
西南濃	54,400	54,000	53,400	52,700	51,500	48,300
中濃	18,300	18,200	18,000	17,800	17,500	16,500
東濃	14,400	14,300	14,300	14,200	14,000	13,300
飛騨	13,100	13,000	13,000	12,900	12,700	12,000
愛知県	123,800	123,100	121,900	120,600	118,400	110,200
尾張	58,200	57,900	57,300	56,700	55,700	51,800
西三河	44,100	43,800	43,400	42,900	42,000	38,900
東三河	21,700	21,600	21,400	21,200	20,900	19,600
三重県	126,300	125,300	123,800	121,800	119,500	109,600
北勢	39,300	39,000	38,600	38,000	37,300	34,200
中勢	44,800	44,400	43,800	43,000	42,100	38,100
南勢	19,400	19,300	19,100	18,900	18,700	17,800
伊賀	23,000	22,800	22,500	22,100	21,700	19,700

注：ふるい目幅別収穫量（子実用）とは、県及び作柄表示地帯別の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

## 5 令和5年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（10月25日現在）

単位：％

区 分	計	100kg 未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg 以上
東海3県	100.0	0.2	1.0	2.4	9.5	32.5	38.9	14.3	1.2	-
岐阜県	100.0	-	-	2.6	9.0	32.3	43.2	12.3	0.6	-
愛知県	100.0	0.5	1.5	3.0	12.7	33.0	34.6	12.7	2.0	-
三重県	100.0	-	1.3	1.7	7.0	32.3	39.8	17.0	0.9	-

注：10月25日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある。

## 6 令和5年産水稻の作柄表示地帯別玄米重歩合（10月25日現在）

単位：％

区 分	玄米重 歩合	区 分	玄米重 歩合	区 分	玄米重 歩合
岐阜県	98.1	愛知県	98.6	三重県	98.3
西南濃	97.5	尾張	98.8	北勢	98.6
中濃	98.0	西三河	98.6	中勢	98.0
東濃	99.0	東三河	99.0	南勢	99.0
飛騨	99.0			伊賀	98.2

注：1 10月25日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある。

2 1.70mmのふるい目幅で選別された10a当たり玄米重及び粗玄米重より推計したものであり、粗玄米から得られる玄米の重量の割合をいう。

## 7 令和5年産水稻の刈取期及び刈取済面積割合（10月25日現在）

区 分	刈 取 期						刈 取 済 面 積 割 合
	始 期	最 盛 期	終 期	最 盛 期 の 比 較			
				対 平 年 差	対 前 年 差		
月 日	月 日	月 日			％		
岐阜県	9. 1	10. 1	10. 18	2日早	2日早	98	
西南濃	8. 30	10. 10	10. 24	1日早	並み	96	
中濃	8. 30	9. 19	10. 13	3日早	5日早	100	
東濃	8. 29	9. 17	10. 8	3日早	5日早	100	
飛騨	9. 11	9. 25	10. 11	2日早	3日早	100	
愛知県	8. 27	10. 6	10. 25	1日早	2日早	96	
尾張	8. 31	10. 18	…	1日早	1日早	91	
西三河	8. 21	9. 20	10. 18	2日早	4日早	100	
東三河	8. 24	9. 30	10. 23	1日早	1日早	99	
三重県	8. 18	9. 2	9. 24	2日早	2日早	100	
北勢	8. 12	9. 2	9. 25	2日早	3日早	100	
中勢	8. 17	8. 29	9. 20	2日早	3日早	100	
南勢	8. 12	8. 26	9. 13	2日早	2日早	100	
伊賀	8. 29	9. 11	9. 30	2日早	2日早	100	

注：1 刈取期の始期、最盛期、終期とは、刈取済みの面積割合がそれぞれ5％、50％、95％に達した期日である。

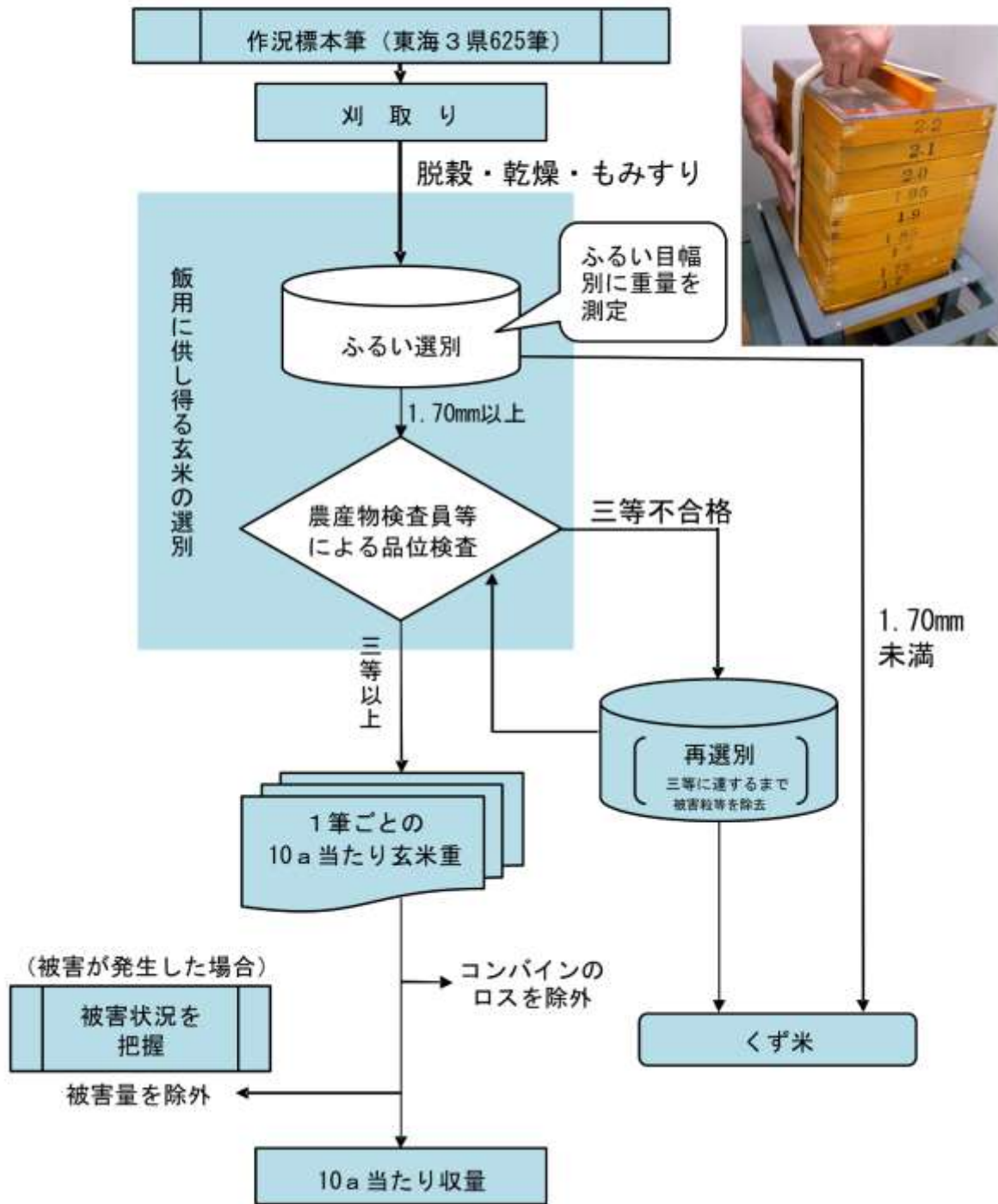
2 「…」は10月25日現在において、その期日に達していないことを示す。



【参考 1】

## 収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考 2】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。



【参考2】

ふで  
作況標本筆とは

ふで  
収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆と呼ぶ。）は、各県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（東海3県で625筆）調査している。

全国の全ての土地  
（母集団）



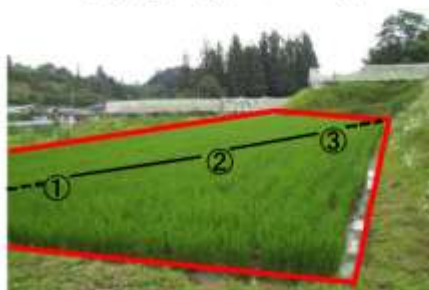
- 1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区  
（200m四方の土地）



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆  
（東海3県で625筆）



- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに1㎡（合計3㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

## 【調査の概要】

### ・面積調査

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

### ・作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）

[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kome/gaiyou/](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/)

### ○ 調査対象数

#### ・作付面積調査

標本単位区数：2,535単位区

#### ・予想収穫量調査

作況標本筆：625筆 作況基準筆：11筆

### ○ 令和5年産作況指数の算出に用いるふるい目幅

令和5年産の作況指数の算出に用いるふるい目幅									
都道府県	農家等 使用目幅	都道府県	農家等 使用目幅	都道府県	農家等 使用目幅	都道府県	農家等 使用目幅	都道府県	農家等 使用目幅
北海道	1.90mm	埼玉	1.80mm	<b>岐阜</b>	<b>1.80mm</b>	鳥取	1.85mm	佐賀	1.85mm
青森	1.90mm	千葉	1.80mm	静岡	1.80mm	島根	1.90mm	長崎	1.80mm
岩手	1.90mm	東京	1.80mm	<b>愛知</b>	<b>1.85mm</b>	岡山	1.85mm	熊本	1.85mm
宮城	1.90mm	神奈川	1.80mm	<b>三重</b>	<b>1.85mm</b>	広島	1.85mm	大分	1.80mm
秋田	1.90mm	新潟	1.85mm	滋賀	1.90mm	山口	1.85mm	宮崎	1.80mm
山形	1.90mm	富山	1.90mm	京都	1.85mm	徳島	1.80mm	鹿児島	1.80mm
福島	1.85mm	石川	1.85mm	大阪	1.80mm	香川	1.80mm	沖縄	1.80mm
茨城	1.85mm	福井	1.90mm	兵庫	1.85mm	愛媛	1.85mm		
栃木	1.85mm	山梨	1.80mm	奈良	1.80mm	高知	1.80mm		
群馬	1.80mm	長野	1.85mm	和歌山	1.80mm	福岡	1.85mm		

### ○ 作柄表示地帯

東海3県の各作柄表示地帯の包括範囲は、下表のとおり。

区分	地帯名	包 括 市 町 村
岐阜県	西南濃	岐阜市、大垣市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、海津市、岐南町、笠松町、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、北方町
	中濃	関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町
	東濃 飛騨	多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市 高山市、飛騨市、下呂市、白川村
愛知県	尾張	名古屋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町
	西三河 東三河	岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町 豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村
三重県	北勢	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町
	中勢	津市、松阪市、多気町、明和町、大台町
	南勢	伊勢市、尾鷲市、鳥羽市、熊野市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町
	伊賀	名張市、伊賀市

#### 【水稲調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

#### 【Webサイト掲載案内】

- ・ この統計調査結果は、東海農政局Webサイトの「農林水産統計」で御覧いただけます。  
<https://www.maff.go.jp/tokai/tokei/kohyo/schedule/index.html>
- ・ 全国値の詳細は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。  
[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kome/#y4](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y4)
- ・ 本資料のうち、作付面積は概数値であり、確定した詳細な数値は、Webサイトに掲載（令和6年2月予定）します。
- ・ 本調査についての確定値は、「令和5年産水稲の収穫量」として令和5年12月上旬に公表する予定です。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、Webサイトでお知らせします。

#### 【関連リンク】

- ・ 農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局  
<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>
- ・ 気象庁  
<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

#### お問合せ先

##### ◎本統計調査結果について

東海農政局 統計部 生産流通消費統計課  
電話：052-763-4732

##### ◎農林水産統計全般について

東海農政局 統計部 統計企画課  
電話：052-763-4730



政府統計

政府統計の総合窓口

(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



令和5年11月1日現在で、2023年漁業センサスを実施します。  
(流通加工調査については令和6年1月1日現在)